120
元気な120才を創る会
延ばそう・健康寿命

月刊 高齢者見守りサービス最前線レポート
みまもりプレス
16.APR.2020
4月16日号
通巻034号
■発行所／(株)びゅ～すまいる編集舗・みまもりプレス編集部 〒116-0001 東京都荒川区町屋2-2-15 Primera ODA 301号
■2020年4月16日発行号 ■TEL.03-6807-8287 FAX.03-6807-7317 ■発行者・編集人／八木澤 晃 ■毎月第3木曜日発行

IoT Bank

見守りサービス『まもサーチ』4月中旬にリリース

GPSと衛星測位システム『みちびき』で高い精度に期待

IoTBank(東京都新宿区)では、GPSの位置情報を使用した見守りサービス『まもサーチ』がリリースされる。当初、2月の中旬に発売される予定が「さらなる品質向上のため」として延期されていたが、いよいよ2020年4月17日(金)より販売が開始されるという。また、今回『まもサーチ』の発売記念として、月額通信料が初月無料になるキャンペーンも実施するとのこと。

『まもサーチ』は、スマホアプリをダウンロードして、簡単な登録をするだけですぐに利用できる見守りサービス。例えば、ひとりで外出した児童や高齢家族の居場所をいつでもスマホで確認することができる。

回線契約や設定などは不要で、事務手数料や解約金もなく、端末を購入後、月額または年額の通信料のみで利用できる。国内の「GPS端末」としては最小最軽量化が図られ、また一般的なGPSの電波だけではなく、日本の衛星測位システム『みちびき』の電波も使用するということで、その精度の高さにも期待が膨らむ。

Amazonなどの主要ECサイトで発売されるほか、ビックカメラ、ヨドバシカメラ、ヤマダ電機、上新電機、ノジマなどの実店舗でも購入できるという。

『まもサーチ』公式サイト：https://mamosearch.jp

NEWサービスひとくちMEMO

『マッスルスーツ Every』を手軽に購入できるように――

分割金利ゼロ、手数料送料無料など施策打ち出し
公式通販サイト開設：イノフィス

https://musclesuit.co.jp

シニアが元気になると
日本が元気になる！
元気シニア倶楽部
会員募集中!!
――入会費・年会費なし――
一般社団法人
日本元気シニア総研
〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿4-4-5 第3伊藤ビル4階
tel.050-5533-3100 fax.03-5791-5859 Email. info@genkisenior.com

健康みまもり　介護事業支援

「高齢者向け体操」の無料公開スタート

外出制限の高齢者のために「DVD 収録映像公開」で家族や介護者を支援：西東社

実用書や児童書の出版販売を行う西東社（東京都文京区）では、高齢者のストレス解消に有効な体操を掲載した『思い出のうたで高齢者イキイキ体操 32 曲 オールカラー（DVD & CD2 枚付き）』内の映像の無料公開を開始した。

思い出の歌に合わせて体を動かすことは脳を活性化し、ストレス解消にも効果が期待されるとし、本著では「かごめかごめ」「故郷」「シャボン玉」など懐かしの童謡・唱歌に合わせた体操を 32 曲分収録。発売当初より高齢者施設のレクリエーションに採用されるなど、多くの福祉現場で好評を得ているという。

現在、新型コロナウイルス感染拡大にともなう自粛要請で、外出を制限される高齢者の増加が予想されるなか同社では、「ストレスを感じる当人・家族・介護者の助けとなればという思いで DVD に収録されている体操を無料公開することに致しました――」としている。

動画は同社の YouTube チャンネルで閲覧が可能。無料公開期間は未定としているが、さらに今後も SNS を通じてコンテンツの一部無料公開を行う予定とのこと。

【本書概要】
■著者：尾陰由美子
■発行元：西東社
■価格：1800 円+税
■判型・ページ数：B5・128

https://www.youtube.com/watch?v=iUkGvuKC18A&feature=youtu.be

『まもる～の HOME』と ALSOK が連携

「すぐに駆けつけられない」という家族の不安を解消：まもる～の× ALSOK 山形

まもるーの（東京都千代田区）では、在宅介護向けの新しい見守りサービス『まもる～のＨＯＭＥ』の販売にあたって、ＡＬＳＯＫ山形との間で「見守り体制強化」を図り全国展開することを発表した。『まもる～のＨＯＭＥ』は、〝睡眠状況の把握〟をキーワードとした新しい在宅介護向けのクラウド型見守りシステムで、ベッドのマットレス下に設置したセンサーにより、離れて暮らす家族や、介護施設・障害者施設・医療機関スタッフでも、利用者の睡眠・離床、部屋の環境をリアルタイムに知ることができるというもの。

また、利用者がベッドから長時間離れたままになっていたり、通常時とは違う状態を検知したりすると、家族や介護施設スタッフに緊急メールで通知が届くしくみ。

今回、ＡＬＳＯＫホームセキュリティとの契約によって、利用者の異変に気付いた際に家族や介護施設スタッフからの依頼があれば、全国でＡＬＳＯＫのかけつけサービスの利用が可能になるという。「何か起きた時にすぐに駆けつけられない」という家族の心配と、「急に具合が悪くなったらどうしよう」という本人の不安、両方を解消することができるとしている。

https://mamoruno.miel.care

情熱の発明商品・発掘プロジェクト
生活にやさしい『なるほどアイテム』を探せ

当コーナーでは、発明学会（東京都新宿区）のご協力をいただき「情熱の発明品」をご紹介。テーマは『介護予防』――それと並行して子どもや高齢者、そして世の中にやさしい「なるほどアイテム」をピックアップします！ 掲載された商品に興味のある方は下記までご一報ください。

第33回 補聴器をなくさない便利用品

『補聴器（両耳用）おしゃれストラップ』

◎補聴器とストラップを接続した状態

矢印部のループを使用

◎耳に装着したイメージ

取り付けも簡単です！

補聴器を使い始めた八木 和子さん。ふとした拍子に、耳に付けた補聴器を落としてしまい、必死になって探した経験をしました。スイス製の高価で大切な補聴器です。この問題を何とか解決できないかと、考えるようになりました。

補聴器についていろいろ考えてみると、色々な問題点が見つかりました。補聴器は性能がよく、小さく軽くできていますが、いったん落とすと、どこに落としたかわからなくなります。また、補聴器を両耳で使う場合、落としても片方は聞こえるため、補聴器を落したことに気が付きにくいのです。

八木さんが注目したのは、補聴器についている、耳から引き出す際に使用する、ループ状の「テグス製のつまみ」。このループを利用した『補聴器（両耳用）おしゃれストラップ』を発明しました。構造は、眼鏡用ストラップの両端を、ループ状のつまみに接続できるよう、小型の接続具をつけたもの。取り付けはとても簡単で、左右の補聴器についているループ状のつまみに、ストラップ両端の接続具をつなげるだけ。

これなら、もし片方が耳から外れたとしても、ストラップでぶら下がり、落とすことは無くなります。補聴器を一時外したい時には、首にかけておくことも出来ます。

ループ状になっていない補聴器もありますが、メーカーに依頼すれば、引き出し用のテグスをループ処理してくれることを購入店で確認済み。

紐のストラップでは地味だったので、ストラップをチェーン、ビーズなど好みの物で作っておくと、洋服や気分に合わせて、おしゃれなアクセサリーに出来る楽しみも増え、以前よりも笑顔が増えた八木さん。八木さんのアイデア商品がさらに広まり、全国の難聴者を笑顔に変える日が楽しみです。（松野泰明）

無料プレゼント！ 発明ガイドブック

「発明ライフ・入門」（希望者は下記まで）

〈この商品のお問い合わせは〉

一般社団法人 発明学会 発明アドバイザー 松野MP係 まで

東京都新宿区余丁町７番１号　発明学会ビル

☎ 03（5366）8811　y-matsuno@hatsumei.or.jp

こちら『元気シニアビジネスアドバイザー!!』

ブレーンモンジュ・林野 均の「シニア〝萬〟遊記」第31回

自宅に閉じこもりがちなときに

新型コロナウイルスは高齢者の方が重症になりやすいと言われています。「手洗い」と「うがい」をこまめに行なって感染のリスクを減らすことが一番大事なようです。

また、３密（換気の悪い『密閉』空間・大勢がいる『密集』場所・間近で会話をする『密接』場面）を絶対避けることも重要です。７都府県で発令された緊急事態宣言で外出自粛が要請されましたが、それ以前から全国で不要不急の外出は自粛するように言われています。でも高齢者の方にとっては家に閉じこもっているのも肉体的、精神的リスクが高いと思われます。歩かないことで足の筋肉が衰え、転倒の危険性が高まります。

転倒から骨折、そして寝たきりとなることはもはや常識となっていますが、現在の医療状況では病院で手当てしてもらえるかも疑問ですし、病院自体が感染源にもなりかねません。室内で座っているだけでなく、なるべく身体を動かしたり、人のあまりいない時間・場所を選んで散歩するなりして筋力が衰えないようにしましょう。

外食も控えなければなりませんので、積極的に自炊してみましょう。料理は脳活にも効果的ですし、料理すること自体がカロリー消費にもつながります。カロリーを消費しないと食が細くなり、フレイルにつながります。

人と至近距離で話をするのも飛沫感染のリスクが高くなりますから避ける必要はありますが、人と会話しないことは脳の衰えに結びつきやすくなります。電話等でかまいませんので、人と会話をすることも必要でしょう。

コロナ禍がいつまで続くのか不透明ですが、必ずや終息する時がくるはずです。それまで元気に過ごすためにいろいろ工夫しながら乗り越えましょう。

そうそう、一番免疫力を高めるのは笑うことだそうですよ。

Author／林野 均（はやしの ひとし）

プランニング・ブレーン・モンジュ代表／一般社団法人 日本元気シニア総研研究委員

『元気シニアビジネスアドバイザー』資格を取得後、元気シニア総研研究委員として、シニア向け商品やサービスの取材を「自らのシニア目線」で精力的に行なっている。 https://planningbrain.com

健康みまもり

福祉用揺動ベッド『fulful』のレンタルを開始

寝たきりや肢体不自由の人が気軽に「揺れ」を体験できるようにと：アイクォーク

揺動ベッドの開発・製造・販売を行うアイクォーク（福岡県志免町）では、福祉用揺動ベッド『fulful（フルフル）』のレンタルサービスを全国エリアで開始した。（2020年3月20日より／一部地域を除く） 福祉用揺動ベッド『fulful（フルフル）』は、体位が安定しなかったり、寝たきり等で揺れを体験する機会が少ない肢体不自由の児童が、気軽に「揺れ」を体感することができる電動ベッド。8段階の揺れスピードの調整が可能で、「筋緊張」を緩和したり入眠やリラックス、遊びのための快刺激を与えたりと様々なメリットを有すという。また、揺らすことでの「排痰」の改善にもつながるとのこと。

同社では「販売価格（税抜39万8,000円）でフルフルのご購入を諦められていた方々から、ご要望の多かったレンタルサービスを開始いたしました。今後も皆様にお役に立てる商品の開発やサービスを行って参りたいと思います――（アイクォーク）」としている。

レンタル料金など詳細は下記公式サイトを参照。

http://yo-dou.com/fulful.html

冷蔵庫の開閉センサーで独居高齢者を見守り

『独居ケアアシスタント』の提供を開始：ネコリコ

ネコリコ（東京都千代田区）では、一人暮らしの高齢者を対象とした法人向けみまもりサービス『独居ケアアシスタント』の提供を開始した。

同サービスは「見守られる高齢者」の冷蔵庫などに設置されたセンサーが、ドアの開閉を検知。一定時間動きがない場合「異変」と検知して「見守る人」に知らせるというシンプルな仕組み。センシング型のみまもり支援サービスなので、見守られる高齢者はとくにセンサーを意識することなくいつも通りの生活を送るだけ。月額500円からという料金体系。

「みまもりセンサー」は、コンパクトサイズにLTE通信機能と3つのセンサー（温度、湿度、加速度）を搭載。SIMカードも内蔵しているため、インターネット回線や電話回線のない環境でも、電源オンですぐに使うことができる。

https://www.necolico.co.jp/business/dokkyo/

さがし愛・見守りセット
介護保険適用
SAN さがし愛ネット
ビーコンが、在室・外出・徘徊を検知、アラートでご家族に知らせます。

◎TAISコード：01717-000002
◎分類：徘徊老人監視システム
◎希望小売価格：¥150,000
製造：株式会社サンコウ電子
販売：さがし愛ネット合同会社
東京都千代田区外神田2-12-6
ホリイビル3F
http://www.sagashi-ai.net

安心のビーコン見守り
介護施設・無料モニター募集中!
・デイサービスご利用者などに簡単に体験して頂けます。
・受信機を置くだけで安心の見守りシステムができます。
・設置料・通信費などのご負担は一切ありません。

※地域ごとにモニター募集期間を設けます。詳しくは下記まで。
フリーダイアル
0120-966-696
メール
contact@sagashi-ai.net

熱視線 あのサービスにフォーカス

キングジム

アクティブシニアをサポートする新ブランド『ａｒｅｍａ』

第一弾として『自分まとめファイル』そして『集音器』2商品を発売

キングジム（東京都千代田区）では、アクティブシニアの前向きな暮らしをサポートする新ブランド『ａｒｅｍａ（アレマ）』を立ち上げた。そのシリーズ第1弾として、『自分まとめファイル』（2020年4月17日）、次いで『集音器』（2020年5月1日）を続けて発売する。

『自分まとめファイル』は、「自分も家族も安心できる、もしものための商品」として開発され、ファイルとボックスが「2冊1組セット」として構成されている。例えば通帳や印鑑などは安全上、ファイルとボックスに分けて保管できるほか、いざというときに困らないよう必要なものを整理して保管することができるという。

また、『集音器』は、「自然な見た目で使用できるイヤホン型」となっており、初めて集音器を使用する人でも抵抗感のないように工夫が施された。また、左右のイヤホンに搭載された「集音用マイク」によって耳元に音を集めるため、音が聴こえてくる方向や距離感など、装着者の耳で聴きとったような自然な聴こえ方が特徴だという。さらに、人によって異なる左右の聴こえ方の偏りをなくすために、「音量バランス」の調節も可能とのこと。基本の操作は「電源スイッチ」と「音量ダイヤル」の2つのみのシンプルな設計というのも嬉しいところ。

キングジムではこれまで、「ファイル」や「テプラ」をはじめ、ビジネスシーンや家庭で役立つデジタルガジェットなど、新しい発想やひと工夫を加えた製品を開発。「今回、従来の製品開発で培ったノウハウを生かして、新ブランド『ａｒｅｍａ（アレマ）』を立ち上げ、シニア市場に参入いたします――」としている。

https://www.kingjim.co.jp

『栄養睡眠改善トレーナー』認定資格を取得して、
あなたも活躍してみませんか？

眠りと食事で毎日げんき！
一般社団法人 日本栄養睡眠改善協会
The Japan Association for Better Sleep and Nourishment